

志布志麓



# 歴史



志布志麓の魅力を全6回(隔月)にわたりお伝えします。

志布志麓の庭園群は国指定名勝「天水氏庭園」「平山氏庭園」「福山氏庭園」や国登録記念物「鳥濱氏庭園」「清水氏庭園」、その他にも「阿多氏庭園」など、江戸時代から現在まで引き継がれています。

### 第三回 名勝 志布志麓庭園

志布志麓庭園群に共通する特徴は枯山水様式。土や砂、岩石で水を表現するのが最大の特徴。それぞれの庭園の石組みの方法や石の種類など幾度足を運んでも新しい発見に出会えます。

平成になって、綿密な現地調査や精密な測量図の作成が行われ、平成19年7月、国の名勝に天水氏庭園、平山氏庭園、福山氏庭園が指定されました。いずれも長い年月を経た庭園で福山氏庭園以外は個人が所有されています。見学す

る際は、住んでいる方や庭園を彩る花や樹木などへの気遣いが必要です。

国指定名勝三庭園をご案内しましょう。天水氏庭園は築山のある枯山水庭園。江戸時代中期の作庭と伝えられています。門を入る通路から岩盤を矩折れに削り取った石段は見事です。庭園のある屋敷地は、沢目記馬場のなだらかな坂の奥の小さい所にあります。志布志城を借景にしているところも見逃せません。

平山氏庭園は寺院起源の枯山水庭園。石峯寺の跡で江戸時代初期の作庭と伝えられています。自然の傾斜地と大規模な

岩が連なり、岩窟、月を象った溝、燈籠など寺庭だったことが窺えます。

福山氏庭園は築山のある枯山水庭園。主屋建物は江戸時代後期に造られ、庭園の作庭年代は不明です。志布志麓で江戸時代後期に郷士年寄(曖)を務めた最上級家臣の武家屋敷で、建物や庭園の配置構造はほぼ完全な形で残されています。庭園のある屋敷地は若宮馬場の少し奥まった所であり、宝満寺跡を借景にしています。現在、主屋建物の修復工事中です。早目の完成が待ち遠しいです。

写真・文：東郷恵子(志布志麓住人 落語好き)



岩盤壁面と通路



岩盤の景石と多宝塔型灯籠(右奥)



屋敷入口への通路



屋敷門と岩盤



石柱屋敷門



屋敷門



問い合わせ先：教育委員会 生涯学習課 文化財管理室 指定文化財係 Tel：472-1111 (内線 343)